

「平和都市広島から山への感謝と尊崇を」

ひろしまアピール2014

「人間は自然の子であり、地球は人類の学校である」と言われる。

私たちは、これまで「自然」から多くの恵みを受け、ときには厳しい試練にさらされながら衣食住を整えてきた。

その一方で「自然は人間に従属するもの」という、思い上がった振る舞いによって、大気や、水や土壌を汚し、かけがえのない森林や生態系を破壊してきた。

山との深いかかわりを持つ私たちは、「人間が、少しでも自然に手を加えれば、自然・環境への負担が必ず生じる」ことを身もって体験し、「山に大きな負担をかけてはならない」ことを心に銘じ、山の自然を保護するために、実行可能な行動目標を提示し、小さなことを大切にしながら、世界の山仲間とともに取り組んできた。

日本では、今年「国民がこぞって、山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する日」として、国民の祝日「山の日」が制定された。

まさに、山の自然保護を考えるチャンスであり、人々が自然に寄り添い、生きる原点に立つことになる。

私たちは、平和都市「ひろしま」から、山への感謝と尊崇を第一に、山への負担の軽減と環境保護のため、全力を挙げて取り組むことをここに宣言する。

2014年11月25日

アジア山岳連盟（UAAA）創立20周年記念総会

(註)

1. 人間環境宣言 (1972・6)

ストックホルムで開催された国連人間環境会議で宣言され、天然資源の保護、再生可能な資源を生み出す地球の能力の維持と回復・向上などを列挙している。

2. カトマンズ宣言 (1982・1)

ネパールで開催された国際山岳連盟総会で、山岳環境・景観の保全、動植物の生態系、天然資源の保護、自然保護の促進など、10項目の具体的な取り組みを提言した。

3. 松本宣言 (2001・10)

長野県松本市で開催された、世界岳都都市会議 in 松本で、自然、人、文化、生活、都市が調和した環境づくりの実現に向けて取り組むことを提言した。

4. 国際山岳年 (2002)

1998年の国連総会決議によって定められた国際年で、日本を含む78カ国(2002・12現在)が、国レベルの対応組織をつくっている。

5. 国際山岳自然環境会議 (2003・4)

日本の山岳7団体により構成された、山岳団体自然環境連絡会が、初めて取り組んだ集会。専門家円卓会議や公開シンポジウムが行われた。